

4

このまちと人から「生きる」を学び、社会参画する力を培う教育

「ぎふMIRAI's」推進事業

事業概要

岐阜市の自然・歴史・伝統文化・産業・暮らしなどを探究的に学ぶ過程を通じて、まちへの誇りとグローバルな視野、よりよい社会の実現のために主体的に行動する力など、自分の生き方をつくり出す、未来を拓く力を育むことを目指し、以下の6つの取組を展開します。

- ① ぎふMIRAI's チャンネル
全小・中学校をオンラインでつないだ一斉授業の実施
- ② ぎふMIRAI's ライブラリ
岐阜市の魅力について見たり調べたりできる情報バンクを構築
- ③ ぎふMIRAI's フィールドトリップ
人々の声や姿とリアルに出会う機会の創出
- ④ ぎふMIRAI's サポートーズ
岐阜市の学校教育を応援してくれる人材バンクを構築
- ⑤ ぎふMIRAI'sカリキュラムマネジメント
育成する資質・能力を位置付けた、小中一貫のカリキュラムを編成
- ⑥ 岐阜市を教材とした授業実践
各学校での教材開発・授業実施、学校間での教材共有や成果・課題の交流

今後の方向性

柱となる6つの取組を着実に実施し、改善を図りながら推進していくことで、将来的に本事業が岐阜市の教育の中核的な施策へと発展させていくことを目指します。
指標として、全国学力・学習状況調査の設問「将来の夢や目標をもっている。」に対し、肯定的に回答する児童生徒の割合を70%にすることを目指します。

ふるさと大好き鵜飼事業

事業概要

市内小学校5年生及び中学校1年生(※中学1年生は令和5年度まで)を対象に、鵜飼観覧体験事業を展開しています。ふるさとを愛する心情と態度を育成するとともに、ふるさとを誇りに、自信をもって生きぬく資質と態度を養うことを目的として行っています。

平成13年度から続く事業(新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2・3年度は中止)であり、児童生徒及び引率者の観覧船乗船料の半額を補助し、各学校の企画・運営のもと鵜飼を観覧します。令和4年度は、市内小中学校から4,972名が参加しました。

鵜飼観覧は、ふるさと岐阜市の伝統文化に対して、より一層興味・関心をもつ有用な機会となっている。また、鵜飼のみならず、提灯や和傘など伝統的な産業も含めたふるさと岐阜市のよさを、自分の周りの人に広げ、未来につなげられるよう、学校での学び(社会科や総合的な学習の時間など)とつなげていくことが大切だと考えます。

今後の方向性

鵜飼観覧を行う際に、合わせて鵜匠や鵜飼ミュージアムの方の話の聞いたり、伝統文化に携わる方の話を聞いたりするなど、ふるさと岐阜市の魅力についてより多く知るとともに、多面的・多角的に学ぶ機会を積極的に生み出すなどし、ふるさとを愛する心の醸成を図っていきます。

コミュニティ・スクールを主体とした教育活動の展開

事業概要

コミュニティ・スクールは、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組む「地域とともにある学校づくり」を推進する仕組みです。岐阜市では全ての市立学校・園において、コミュニティ・スクールを導入しています。

地域と学校が一体となって未来の担い手を育てるという理念を共有し、日常の学校授業や土曜授業の機会などを通じて、地域が持つ固有の特色や地域人材の知見・スキルを生かした多様な教育活動を、これまで展開してまいりました。

今後も、学校と共に子どもの教育を支える当事者として、また「ぎふMIRAI's」の学びを中核的に担う立場として、学校との連携・協働を一層推し進め、コミュニティ・スクールとしての活動の充実に取り組んでまいります。

今後の方向性

地域として、学校と共に何を目指し、何ができるのかを議論するとともに、現在の地域学校協働活動をさらに、「ぎふMIRAI's」の学びを共に形作る活動としても連環させることで、コミュニティ・スクールが主体となる教育活動の発展を図っていきます。

コミュニティ・スクールの活動の充実に向けた支援

事業概要

子どもたちの多様な学びや学校運営を支える基盤である、コミュニティ・スクールの機能をより一層発展させるため、コミュニティ・スクールの新たな担い手となる地域人材の育成や、専門家の知見を生かした地域学校協働活動の充実・改善に取り組みます。

(1) 統括コーディネーターの配置

コミュニティ・スクール推進セミナーの運営、学校及びコーディネーターとの連携調整、学校現場へ地域教育人材を繋ぐ役割、卒業生等が活動へ参画する制度の試行等を行います。

(2) コミュニティ・スクール推進セミナーの実施

コーディネーター及び地域教育人材の育成を主目的として、有識者による実務研修を行い、スキル習得を図ります。また各校区の効果的な取組を発表し、互いに学び合います。

(3) コミュニティ・スクール推進アドバイザーの活用

地域のシニアと子どもたちが創る地域学校協働活動のノウハウを提供したり、既存の地域学校協働活動の充実に向けた支援・助言を行います。

今後の方向性

推進セミナーの実施や推進アドバイザーの活用等を通じ継続的な支援を行うことで、コミュニティ・スクールによる教育活動の充実と持続可能な運営基盤を整えていきます。また、コミュニティ・スクールの運営・活動をより地域主体のものとしていくため、社会教育団体との連携や、社会教育における人づくりを通じたコーディネーター、地域教育人材の育成を進めていきます。

SDGsを核とした問題解決型学習の実施

事業概要

総合的な学習の時間では、各学校が独自に課題を設定し、その解決に向かって情報を収集したり、整理分析したりする一連の過程を通じて、探究する力を育てています。

具体的な活動の一つとして、地球の約70%を占める海や森林、河川などの自然環境に興味や関心をもち、SDGsの多様な視点から地域内外の環境を捉える力を養う、海洋教育に取り組んでいます。ふるさと長良川と伊勢湾を関連付けて、海洋ごみの課題を設定し、学びの最後に「私たちは環境保全のために、何ができるのか。」というテーマのもと、地域住民に課題解決手法を提案する実践を行っています。

この他にも、各学校で、様々な課題をSDGsと関連させて設定し、探究活動を通じて課題を解決するための提案を考えたり、地域と連携して活動したりしています。

今後の方向性

岐阜市や校区地域の物的・人的資源の積極的な活用するとともに、小中一貫した9年間のカリキュラムのもと、中学校区で学校及び地域の連携をより一層深め、9年間を見通したカリキュラムに基づく総合的な学習の時間を推進していきます。

キャリア教育の充実

事業概要

全中学校において、職場体験学習「キャリアチャレンジ」を実施しています。実際の職場体験だけでなく、職業調査、適性検査受検、事業所訪問、礼儀作法の学習、職場見学、職場体験学習のまとめ・交流等も実施します。また、学習をより深めるために、複数の職場を体験できるようにしたり、外部講師を招聘して働くことの意義や素晴らしさを事前に学ぶ機会を設けたりします。

10歳(小学校4年生)で行う「1/2成人式」は、生まれてから今日までを振り返り、自分への誇りと支えてくれた人への感謝の気持ちを育み、将来の自分に対して希望を持つことを教える取組です。また、14歳(中学校2年生)で行う「立志の集い」は、職場体験や社会人の講演会等を通して将来の具体的な生き方を考え、志を育む取組です。

近年は、オンラインでの実施など、取組の可能性も格段に広がっています。今後も、キャリア教育を通じての学びが、子どもたちの将来を考える契機や目標を持つことにつながる、継続的な取組としていくことが求められています。

今後の方向性

「キャリアチャレンジ」では、職場見学、職場体験学習を実施していくための事業所開拓、他の教育活動と関連付けた指導について、充実を図ります。また、「1/2成人式」や「立志の集い」についても、取組内容や手法を工夫発展させながら、効果的に取り組むことができるよう実践を深めていきます。

市岐商デパートの開催

事業概要

「総合的な探究の時間」という授業の一環として、生徒の出資金(1人500円)を元手とした模擬株式会社を設立し、1年生から3年生まで各クラスで売場を担当します。販売する商品の選定や販売価格の設定、取引先企業との交渉も自分たちで行っています。

看板商品である「市岐商どらやき」や、求肥をアレンジしたオリジナルの岐阜銘菓「鮎菓子」のほか、岐阜県内の特産品を中心に取り扱います。商品をただ売るだけではなく、企業や商品の良いところを「学びながら売る」ことを大切にしています。

また、令和2年度からはコロナ禍における新しいビジネス取引を学ぶ場として、これまでの対面販売だけでなく、ショッピングアプリ「BASE」を活用した取組にも挑戦しています。

学んだ知識や技能を活かす場にとどまらず、卒業後の就職や起業を意識する場、地域経済を支える一員としての自覚を育てる場とすることを、大切にしています。

今後の方向性

時代のニーズに合った販売方法や地域資源を活かした商品を取り扱うなど、生徒の考える企画や発想を大切にしたい、自分たちでつくりあげる市岐商デパートの姿を目指していきます。また、市岐商デパートの認知度を向上させる広報活動についても、さらに注力していきます。

リーダー養成、ぎふ探究ネットワーク事業

事業概要

主にジュニアリーダーやシニアリーダーを対象としたリーダー研修の実施や、地域活動やボランティア活動に取り組む体験を通じて、青少年リーダーとしての自覚や地域貢献に取り組む意欲や志を育むことを目指しています。

平成19年度より、CVS(地域ボランティアスタッフ)登録・表彰制度を創設し、地域活動にスタッフとして参加する中高生へ活動実績に応じた表彰、認定証の発行を通して、称賛と自己有用感を育てる機会につなげています。

また、岐阜市少年自然の家において、地域貢献活動のリーダーとしての資質能力や、協働性、社会参画力を育むことを目的とした研修プログラムを自主的に企画・運営し、参加者同士で切磋琢磨しながら活動しています。

今後の方向性

CVS活動に参加する子どもたちを増やすための積極的な周知とともに、継続的な活動の充実を図る中で、リーダーとしての自覚や地域貢献活動への参加意欲を高めていきます。
さらに、こうしたリーダーシップを発揮できる子どもたちが、自主的に新たな活動に取り組むことを後押しする施策の展開につなげていきます。

岐阜市少年の主張大会の開催

事業概要

社会や国際的な環境が大きく変化する現代にあって、次代を担う子どもたちに広い視野、柔軟な発想、創造性、論理的思考力、さらには自らの主張を正しく理解してもらう力などを身に着けるための契機とすることを目的に、岐阜市青少年育成市民会議とともに実施しています。

岐阜県青少年育成県民会議が示すテーマのもと、市内の中学生が私の主張と題して作文にし、発表しています。
また、毎年6月にぎふメディアコスモスにて、市内各中学校の代表生徒が集い、主張の発表を実際に行う大会を実施しています。

自分の意見を持ち、それを表明するだけでなく、他者の多様な考え方や意見に触れることで、主体的に考える力、人に伝える力、互いの考えを認め合う力、こうした力を育む機会としています。

今後の方向性

子どもたちの広い視野や柔軟な発想、物事を理論的に考える力、自らの主張を正しく理解してもらう力を育む機会として、今後も事業を継続していくとともに、子どもたちの考えるこうした主張・意見を、具体的な行動として形にしていくことを支援する取組にもつなげていきます。